

フィルムで楽しむ懐かしのアニメ

現在わが国を代表するアニメーション作家
「高畑勲」の長篇初監督作品、
原画及び場面設計は「宮崎駿」。

1980年代日本アニメーション映画の金字塔。
監督はアニメーション界の巨人「杉井ギサブロー」。
音楽は元YMOの「細野晴臣」。

太陽の王子 ホルスの大冒険

[1968年 東映動画]



[スタッフ]

／脚本：深沢一夫／演出：高畑勲／作画監督：大塚康生
／美術：浦田又治／場面設計：宮崎駿／原画：森康二／音楽：間宮芳生

[出演者]

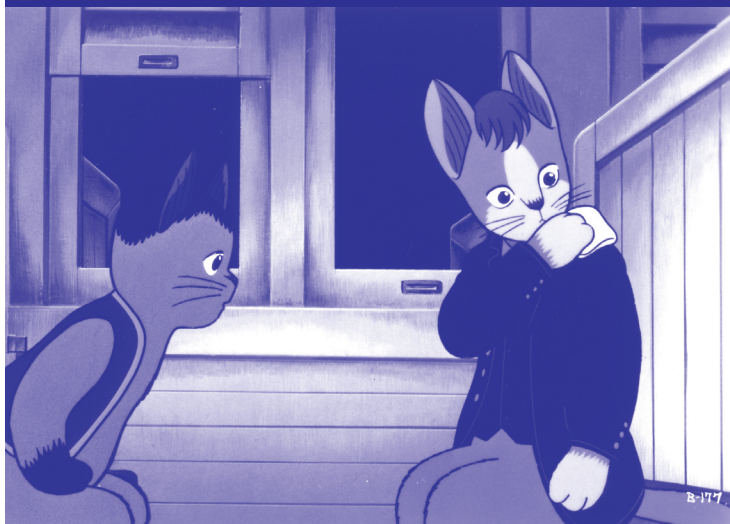
／ホルス：大方斐紗子／悪魔グルンワルド：平幹二郎
／悪魔の妹ヒルダ：市原悦子／村の鍛冶屋ガンコ：東野英治郎
／村長：三島雅夫

[解説]

メジャー・カンパニー＝東映の参入は、わが国のアニメーションの製作に大きな変化をもたらした。長篇動画における初の色彩化、ワイド・スクリーンの導入などに連なるこの作品では、ゼログラフィ（原画をセルに直接転写するシステム）が全面的に採用された。もっとも、1965年頃から大量生産されたテレビ・アニメーションへと東映動画内における製作の比重が移りつつあるなかで、技術的な質の低下を懸念するスタッフの熱意もあり、企画から完成までに3年半が経過している。そのスタッフの一員である高畑勲（長篇初監督）宮崎駿（原画及び場面設計）は現在わが国を代表するアニメーション作家となっている。反体制的色彩の強いストーリー、少女ヒルダに見られる陰影あるキャラクターなど、このジャンルにおける物語の定型を大きく逸脱しており、ユーモアやギャグの希薄さをめぐる当時の批評からは、この作品が斬新な外観をまとうて登場したことがうかがわれる。

銀河鉄道の夜

[1985年 朝日新聞社＝テレビ朝日＝日本ヘラルド映画グループ]



[スタッフ]

／原作：宮澤賢治／原案：ますむら・ひろし／脚本：別役実
／監督：杉井ギサブロー／プロデューサー：原正人・田代敦巳
／撮影：小山信夫／音楽：細野晴臣／美術：馬郡美保子

[出演者]

／ジョバンニ：田中真弓／カンパネルラ：坂本千夏／かおる：中原香織
／ただし：瀧崎ゆり子／鳥捕り：大塚周夫／ジョバンニの母：島村佳江
／カンパネルラの父：納谷悟朗／燈台守：常田富士男 ほか

[解説]

宮澤賢治の代表作である童話のアニメーション映画化だが、主な登場人物を猫に仕立てたますむら・ひろしの異色漫画を原案に、脚本に演劇界の巨人・別役実、音楽にYMO解散後の細野晴臣を迎え、『ジャックと豆の木』（1974）などを手掛けてきた杉井ギサブローが演出を務め、一年半の製作期間をかけて完成させた1980年代日本アニメーション映画の金字塔。文選工として働くジョバンニは、星祭りの夜、無二の友人カンパネルラと共に、機関車に乗って星空へと旅立つ。多くの乗客との出会いと別れを通して、母一人子一人で育ってきた少年は自らの孤独と向き合い、生き続ける意味を確かめることになる。公開当時、「十年もたつとこれは名作としての生命をよみがえらす」と述べた映画評論家・淀川長治を初め、多くの映画人から絶賛され、読者選出による「キネマ旬報」ベストテンでも第7位に選ばれている。常田富士男による最後の朗読は、宮澤賢治の詩「春と修羅」の序である。

呉ポポロ

呉市中通3丁目5-3

定員 209名

11月10日[金]

「ホルスの大冒険」10:30~11:52(82分)
「銀河鉄道の夜」12:40~14:27(107分)
「ホルスの大冒険」14:45~16:07(82分)

乙女座

豊町御手洗

定員 100名

11月12日[日]

「銀河鉄道の夜」11:00~12:47(107分)
「ホルスの大冒険」13:50~15:12(82分)

入場料 1作品 500円

小学生以上有料 当日販売 / 全席自由 / 完全入替制
未就学児童入場可 ※小さなお子様の鑑賞マナーにご配慮ください。

前売り券はありません。当日受付でお支払いください。

※再入場はお断りいたします。※各会場とも定員に達した際にはご入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。※入場券の取扱いは各会場ごととなります。入場券は各会場の初回上映30分前より販売いたします。

お問合せ 呉市文化ホール 呉市中央3丁目10番1号 ☎(0823)25-7878 <http://kure-bunka.jp/>